

## 【背景と目的】

- ・ 宗谷地域は、三方を海に囲まれ、通年して強風にさらされる樹木にとって大変厳しい環境。
- ・ 海岸線においては、過去には多くがササ生地となっていたが、住民の生活環境の改善を目的として海岸防災林造成事業が開始され約50年が経過。
- ・ 現在、公益的機能の低下が見られ、将来にわたり活力ある森林としてその機能を最大限に発揮・維持していくため、効果的・効率的な森林整備が必要。
- ・ 管内には民有林防災林も多く存在することから民国を問わず、宗谷地域の海岸防災林施業モデル林の形成を目標とし、計画的に取り組むこととした。

## 【これまでの取組】

- 平成26年度、学識経験者に参加していただきメークマ海岸防災林全体計画調査を実施し、整備方針等を決定。



- 平成26年度、宗谷流域森林・林業活性化協議会でメークマ海岸林にて現地検討会を実施。

- 平成27年度宗谷流域森林・林業活性化協議会にて学識経験者を招致してメークマ海岸林の伐採跡地にて現地検討会を実施し、施業概要や施業による林地への影響についてなどの意見交換を実施。



- 民有林にも多くの防災林があることなどから、宗谷流域森林・林業活性化協議会総会(H28.3)において「海岸防災林に関する部会」を設置。

## 【平成28年度の取組】

- メークマ海岸林に関しては、小型林業機械の使用など平成27年度作業時の課題を一部改善し、引き続き計画的に本数調整伐を実施。
- 平成27年度伐採箇所において、調査プロットによるモニタリング調査を開始。⇒ 伐採後5年（次期計画時）程度は継続予定。
- 8月に「海岸防災林に関する部会」の第1回として宗谷総合振興局と宗谷森林管理署でそれぞれの防災林の現況等の情報報換等を実施。  
⇒ 現地検討会を予定



- 浜頓別地区海岸防災林において全体計画調査を実施。学識経験者に参加していただき整備方針など詳細に設定。⇒ H29より施業開始



- 林政連絡調整会議（H29.3）にて、これまでの取組を紹介し、今後も情報交換等を行っていくこと確認。

## 【取組の成果】

- 施業の実施により、効率的な作業方法、また、発生した未利用材についてクイムシ被害の危険性などから効率的な処分方法や有効利用などの検討課題が明確となった。



- 各会議や部会を通し、民有林においても、海岸林だけではなく多くの防災林を抱えており、整備についての悩みがあり、整備の考え方や方法など今後も情報を発信してほしいとの要望が出される等、防災林の施業を考えるきっかけとなった。

## 【今後の取組】

- ◆ 計画的に本数調整伐を実施しながら、並行してモニタリング調査を実施し、毎年作業方法なども細かく検討、都度フィードバックを繰り返しながら事業を継続し、将来的に地域の施業モデル林となることを目指す。
- ◆ 海岸防災林に関する部会等を通じて、現地検討会を開催し、取組状況や成果など定期的に情報発信をしていく。